

女性活躍の機運醸成【鳥取県】

個別事業費	2,821千円
交付金額	1,410千円

地域の実情と課題

家庭や職場、地域など様々な場において男女共同参画推進の障壁となっている固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消(気づき)に向けて経営トップをはじめあらゆる世代への普及啓発を行う必要がある。

目的・目標

- 鳥取県男女共同参画推進企業認定数
1,031社(R5) ※目標値1,150社(R7)
- 輝く女性活躍パワーアップ企業登録数
357社(R5) ※目標値500社(R7)
- 県内企業の管理的地位の女性割合
(従業員10人以上) 28.9%(R5) ※目標値30%(R7)
(従業員100人以上) 27.6%(R5) ※目標値30%(R7)

事業の特徴

固定的な性別役割分担意識に基づく労働慣行を変革し、誰もが安心して働き続けられる職場環境づくりに資する研修を実施した。また、令和4年10月に倉吉市で開催された「日本女性会議2022in鳥取くらし」のレガシーイベントとして、若者による男女共同参画推進を促す啓発や若い世代からのキャリアデザイン形成を支援した。

連携団体

- ・鳥取県男女共同参画推進企業認定委員会
(鳥取大学、鳥取労働局、商工団体、労働組合の職員で構成)
- ・各市町村職員(男女共同参画担当)

事業の効果

固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消(気づき)に向けた研修開催等を通じて、地域や職場など様々な場における女性活躍の機運醸成に繋がった。また、学校と連携したキャリアデザイン形成講座の開催により、次世代を担う若者の女性活躍意識の向上に繋がった。

今後の課題

固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みが、職場や家庭、学校、地域等様々な場において男女共同参画推進の障壁となっている状況を踏まえ、解消(気づき)に向けた研修開催等を通じて、女性が地域や職場など様々な場における女性活躍の機運醸成を目指す。

事業の概要

1 持続可能なジェンダー平等の取組促進

誰もが自分らしく活躍できる社会づくりを推進するため、男女共同参画推進における障壁となっている固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス解消のための普及啓発を行なった。併せて、若者によるジェンダー平等をテーマに発表を行うイベント開催や若い世代からのキャリアデザイン形成を支援する講座を実施した。

(1) 日本女性会議レガシーイベント ～次世代につなぐ未来づくりフォーラム～

日時: 令和5年10月8日(日) 午後1時から4時まで 場所: 倉吉未来中心 小ホール

① 基調講演 (講師) 瀬地山角氏(東京大学大学院総合文化研究科教授)

(テーマ)「ジェンダー de 語ろうみんなの未来」

② 高校生による研究発表 2校

③ 若者と瀬地山角さんによるトークセッション コーディネーター 瀬地山 角さん 発表者: 県内若者4名

※参加者82名

(2) 県民向けジェンダーバイアス解消セミナー

日時: 令和5年12月2日(土) 午後1時30分から3時30分まで

(講師) 守屋智敬氏(アンコンシャスバイアス研究所代表理事)

(テーマ) わたしたちを取り巻く「アンコンシャスバイアス」

～「無意識の思い込み」に気づくことから育むよりよい関係づくり～ ※参加者79名

2 学校との連携による若年層へのキャリア形成等支援 県内の中・高・大学と連携し、学校における女性活躍推進に向けた自発的取組を支援した。

女性従業員の学校への派遣回数: 8校 校種内訳: 小学校5、中学校2 大学1

3 経営者向けアンコンシャス・バイアス対応研修の実施

県内企業の経営者向けに、自身の固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づき、適切に対応するための研修を開催した。

日時: 令和6年1月26日(金) 午後1時半から午後3時半まで 場所: とりぎん文化会館小ホール

講演: 時代を先取るチームづくり ～アンコンシャス・バイアスのない企業へ～

講師: サイボウズ株式会社 チームワーク総研 シニアコンサルタント なかむらアサミ 氏

参加者: 81名 ※別途県YouTubeによりアーカイブ配信も実施